

イベント

| イベント名称 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|---|------------------------------|------------------------------------|--|
| 展示「洋画から原作へ ～本の旅に出かけよう」 | [通年] 4月1日(水)～ 3月31日(木) | 緑園図書館2階 展示コーナー | 年間テーマ関連の資料123点を3回に分けて展示 |
| 読書運動PR | 4月2日(木) | 緑園校舎 体育館 | 新入生学内オリエンテーション参加 活動紹介、展示、メンバー募集 |
| 第1回読書会 | 5月18日(月) | 緑園図書館4階 読プロミーティング ルーム | [テーマ]フリー(私のおすすめ本) 今読んでいる本、友達に薦めたい本のレビュー |
| フェリス トライやるweek | 6月15日(月) | 緑園7号館教室 | 1年生に向けたイベント ・マイ・しおりを作っちゃおう! |
| POPコンテスト作品展示 | 6月16日(火)～ 10月28日(木) | 緑園図書館2階 RPコーナー | POPコンテストに応募された19作品および資料の展示 |
| エクスペクト・マカロニ ～ハリーが愛したプレート ～ | 7月20日(月)～ 24日(金) | 緑園校舎 学生食堂 | 読プロとFLC(フェリス・ランチ・コミッティー)による学生食堂メ ニューの企画 [実施メニュー]「ハリー・ポッターにちなんだメニュー」 ・マカロニ・チーズ ・イギリス風スコッチ・ブロス(大麦と野菜のスープ) ・糖蜜パイ ・麦芽ロール |
| 第2回読書会 | 7月24日(金) | 附属図書館本館 グループ学習室 (緑園キャンパス) | [テーマ]「ライオンと魔女」C.S.ルイス [ナビゲーター]藤本朝巳先生(図書館長・本学文学部教授) |
| サマースクールプログラ ム@横浜 | 8月7日(金) | 緑園キャンパス 4号館 Fカフェ | 福島県の小中学生20名を横浜に招くボランティアセンターの プログラムで朗読を披露 [朗読]朗読チーム [演目]「緑のスキップ」安房直子 |
| 選書ツアーとPOPの書き 方講座 | 9月2日(水) | 三省堂書店神保町本店 | 「今フェリス生が読みたい本」をコンセプトに学生メンバーが 74点を選書 POPの達人である三省堂書店員によるPOPの書き方講座 |
| 文学散歩 | 9月11日(金) | 神奈川近代文学館 横浜市史資料室(横浜 市中央図書館内) | 神奈川近代文学館「佐野洋子展」を見学 横浜市史資料室「戦後70年戦争を知る、伝える 横浜の戦 争と戦後」展示を見学 |
| 展示「選書ツアーに行っ てきました!～今フェリス 生が一番読みたい本」 | 10月2日(金)～ 12月21日(月) | 緑園図書館3階 展示コーナー | 9月に行った選書ツアーで購入した図書74点の展示 |

| イベント名称 | | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|-------------------------|--|---------------------------------|---|--|
| 大学祭 | 展示 | 10月31日(土)～ 11月1日(日) | 緑園図書館2階 エントランスホール | 大学祭企画 年間テーマに関する展示 |
| | クイズ | 10月31日(土)～ 11月1日(日) | 緑園図書館2階 エントランスホール | 年間テーマに関する展示からのクイズ 正解者には読プロオリジナルしおり・オリジナルキャラクター 「リプロくん」の付箋をプレゼント |
| | ワークショップ | 10月31日(土)～ 11月1日(日) | 緑園図書館2階閲覧席 | 「縫わずにできちゃう ブックカバーを作ろう！」 布とボンドを使ったブックカバーの製作体験 |
| | 朗読会 | 10月31日(土) | 緑園図書館3階 教員・院生閲覧室 | 大学祭企画 朗読チームによる朗読発表 【朗読】朗読チーム、すずの音(ね)(朗読チームOG) 【演目】 ・朗読チーム 『野ばら』小川未明、『口紅のとき』より『6歳』角田光代、『空 白330円』角田光代、『鼻』芥川龍之介 ・朗読チームOG『すずの音(ね)』 『家守綺譚』より『紅葉』『葛』『萩』梨木果歩 【演出・指導】鈴木千秋先生(本学朗読講師) |
| 新企画 読み聞かせレッスン | 12月8日(火)、 15日(火)、1月 12日(火)、19日 (火)、26日(火) | 緑園図書館3階 グループ学習室 (緑園キャンパス) | 【内容】読み聞かせの基本から本の選び方、手遊び・わらべ 歌などを学ぶ 【講師】 藤本朝巳先生(図書館長・本学文学部教授) 永井雅子先生(本学非常勤講師) 菊地彰子(読み聞かせ指導者) | |
| 第3回読書会 | 12月15日(火) | 緑園図書館4階 読プロミーティング ルーム | 【テーマ】もう少し前に出会いたかった本 | |
| 展示「図書館にこんな本 があったのか！」 | 12月18日(金)～ 3月25日(金) | 緑園図書館3階 RPコーナー | 本学図書館にあるちょっと意外な？本を読プロメンバーが選 んでPOPとともに23点を展示 | |
| 小学校朗読会 | 2月9日(火) | 緑園東小学校 | 近隣の小学校で全校生徒に朗読を披露 【朗読】朗読チーム、すずの音(ね)(朗読チームOG) 【演目】 ・朗読チーム 『緑のスキップ』安房直子 ・朗読チームOG『すずの音(ね)』 『ばんぶくりん』より『招き猫の肩こり』宮部みゆき 『いちょうの実』宮沢賢治 【演出・指導】鈴木千秋先生(本学朗読講師) | |

| イベント名称 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|----------------------------|----------|-------------|--|
| 第2回朗読会 「さあ、いっしょに前に進もう！」 | 2月14日(日) | 神奈川近代文学館 | 朗読チームによる朗読発表 【出演】朗読チーム、すずの音(ね)(朗読チームOG) 【演目】 ・朗読チーム 「クリスマス・キャロル」ディケンズ ・朗読チームOG「すずの音(ね)」 「オズの魔法使い」フランク・ボーム 【演出・指導】鈴木千秋先生(本学朗読講師) |
| 高校訪問 | 2月25日(木) | 淑徳巣鴨中学・高等学校 | 淑徳巣鴨中学・高等学校教員からの依頼で、読プロの活動を紹介 |

コンクール

| タイトル | 募集内容 | 結果 |
|----------|--------------------|---|
| POPコンテスト | 図書館の資料を自作のPOPで紹介する | <p>【応募資格】学生 院生 科目等履修生 【応募期間】4月28日(火)～5月29日(金) 【応募数】19作品 【展示期間】6月16日(火)～10月29日(木) 【展示場所】緑園図書館2階展示コーナー 【選考結果(*上位入賞者のみ記載)】 大賞(ベストPOP賞) 『アルジャーノンに花束を』(ダニエル・キイス 著) 加藤 百仁花 (英文学科3年)</p> <p>入賞(目をひくで賞) 『リング』(鈴木光司 著) 阿部 果鈴 (日本語日本文学科2年)</p> <p>入賞(デザインにひきこまれるで賞) 『赤い蝋燭と人魚』(小川未明 著) 鶴田 ほのか (日本語日本文学科2年)</p> |
| 創作コンクール | 募集ジャンル:小説、詩、戯曲 | <p>【応募資格】学生 院生 科目等履修生 【応募期間】5月26日(火)～10月7日(水) 【応募数】16作品(詩(9)・戯曲(1)・小説(6)) 【結果発表・授賞式】2015年1月13日(水) 【選考結果(*上位入賞者のみ記載)】</p> <p>詩部門 第2席「所感」 武田 真依 (国際交流学科2年)</p> <p>戯曲部門 該当作なし</p> <p>小説部門 第2席「つきのひかり」 ペンネーム '横井'(日本文学科3年) 第2席「Phobias」 池 茉莉 (日本語日本文学科1年) 第3席「恋するマリー」 ペンネーム '椿 画廊'(日本語日本文学科2年)</p> |

関連科目

| 科目名 | 講義題目 | 履修年次 | 担当者 | 学期 | 内容(主題・目標等) |
|---------------------------------------|----------------------------|------|-------------|----|--|
| 今年の一冊(12) (A Book for This Year) | 洋画から原作へ | 1234 | 福永 保代 先生 | 前 | 映画と原作を比較し、削除された部分、付加された部分、変更された部分、強調された部分について検討し、映画と原作についての理解を深める。 |
| 読書とメディア(7) (Reading and the Media) | 編集する視点から俯瞰し、理解するメディアとコンテンツ | 1234 | 森 亨 先生 | 後 | <p>人と人、メディアと人、人とモノ.....情報のやりとりが生じる現象はすべてコミュニケーションと捉えることができる。コミュニケーションを担う媒体こそがすなわちメディアである。この講義はメディアというものを学ぶための総合的な知識とリテラシーを身に付けることで、人間力を高めることを目的とする。そのためにコミュニケーションやメディアの特性の違い、読むということ、書くということを経験と理論と、そして講師の20年弱にわたる雑誌編集者の経験による実践をベースに学んでいく。</p> <p>というのも現代は、LINE、Facebook、ブログなど誰もが持っている種のメディアを持つことができる時代といえる。作家でなくてもテキストを書き、写真家でなくても写真を撮り、映画監督でなくとも動画を撮影し、それらをシェアできる。そして、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、本などのメディアを内包するものとしてウェブがあり、それらで毎日テキストを読み、写真を目にする。つまり、私たちは人類の歴史上、もっともテキストを読み書きし、写真を撮って見る環境にあるといえるだろう。</p> <p>そこで、情報を収集し、まとめ、アウトプットするという、かつてはマスメディアに属する人のための特別なスキルであった編集力を学び、それを活かす術を身に付ける。この広義の編集力・編集視点は、学校生活での卒業論文、就活のエントリーシート、社会人生活での企画書など、どの場面においても現代人にとって必須の能力である。そして、これらを身に付けることで、コミュニケーションを多面的に考察する力と、メディアリテラシーを身に付けてもらいたい。</p> |